

JUAS・トランスフォーメーション研究会

2022年度



一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会
Japan Users Association of Information Systems

Copyright (C) 2023 JUAS All rights reserved

本日のAGENDA

◆研究会概要紹介

- ① X研究会とは何か？
- ② 各回でどのようなことを行ったのか？
- ③ ゲストスピーカーのご紹介

◆参加メンバーとのディスカッション

- ① 特に印象に残っている講演内容
- ② 研究会メンバーとの対話で印象に残っていること
- ③ 研究会に参加して起きた変化(個人・組織)

トランスフォーメーション研究会とは

研究テーマ:

DXによって「トランスフォーメーションされる何か」を見つけ出し、どのような変化が起きるのかを探る。

部会長 水谷 世希氏(株式会社日立コンサルティング)

研究会概要・方針

多くのDXプロジェクトが思ったような効果が得られない原因の一つに、DXのDの方にばかり意識が向いていることが挙げられます。

大切なのはXの方であり、「何をどのようにトランスフォームしていくことが必要なのか」について考えることではないでしょうか。

2021年度はSX研究会の活動を通じてサステナビリティのトランスフォーメーションについて、2022年度はさらにテーマを拡張し、様々なジャンルのトランスフォーメーションについて考えてきました。

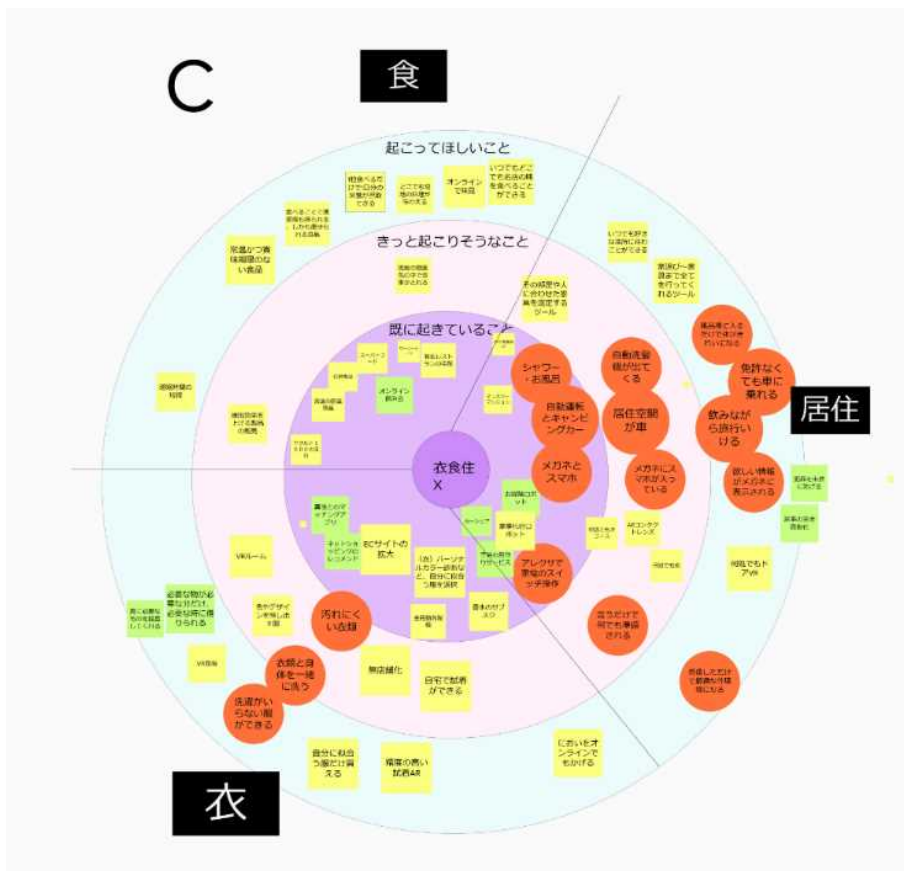
資本主義のX、お金のX、コミュニケーションのXなど毎回何らかのテーマにそったゲストスピーカーのお話をお伺いし、その内容を踏まえてメンバーと共にグループディスカッションを行うことでこれからの社会の変化の兆しに気づきを得ることを目指します。

開催日程(2022年度・オンライン開催)



	日時	テーマ
第1回	2022年6月23日(木)	自己紹介 今年度の進め方ディスカッション「トランスフォーメーションを考える」
第2回	2022年8月24日(水)	新しい顧客価値、新しい領域の創造のためのX 小島 健嗣氏 design MeME 合同会社 代表・前 FUJIFILM Open Innovation Hub 館長
第3回	2022年10月14日(金)	未来に没入して個人と組織を変革する「トランスフォーメーション思考」 堀田 創氏・加治慶光氏 (株式会社シナモン)
第4回	2022年12月8日(木)	トランスフォーメーションのポイント 亀山 満氏 (コネポジ 代表)
第5回	2023年1月20日(金)	共感でお金が循環する社会をデザインする 新井 和宏氏 (非営利株式会社eumo Chief Eudaimonian Officer)
第6回	2023年3月14日(火)	だから、僕たちは組織を変えていける 斉藤 徹氏 (株式会社hint代表 株式会社ループス・コミュニケーションズ代表)

第1回 キックオフ・意見交換



トランスフォーメーションについて
各テーマにグループで意見交換

- 働くのX
- 衣食住のX
- お金のX
- コミュニケーションのX
- ものづくりのX

すでに起きていること
きっと起こりそうなこと
起こってほしいこと



第2回

新しい顧客価値、新しい領域の創造のためのX

JUASトランスフォーメーション(X)研究会主催アカデミーとして開催

トランスフォーメーションの生み出し方、オープンイノベーションの難しさ等をはじめ、何から考えていけばよいかを伺い、講演後は研究会メンバーのみで小島氏を囲み、意見交換

◆概要

- ・自前主義から「共創」への意識改革、行動変革の実践
- ・強みを「自覚」し、社会の風景を変える「ビジョン」を社内外に「伝播」し、「企業の「風土」とする
- ・専門領域を超えて融合していくための「バウンダリーオブジェクト」について
- ・これまでにないものに対して人との関係を再定義する「デザイン」の役割について
- ・変化に合わせて紡ぎ合わせる「ナラティブ」について



富士フィルム デザインセンターで、新技術・新ビジネス分野、情報システム、印刷システム等のプロダクトデザインを担当した後、インターフェースデザイン、ユーザビリティデザイン、ソリューションデザインのチームを立ち上げる。2006年より、事業変革のために新たに開設した先進研究所の現場で、WorkWayと社内外の相互作用を創発するためにデザイン思考をベースとしたワークショップを実践。2007年から2011年まで、異分野の人同士の対話による、新たな気づきを得るための共通言語として、研究開発テーマをプロトタイプした「技術アート」の東京デザイナーズウィーク出展を企画。2011年からは技術戦略部で技術広報と産官学連携によるオープンイノベーションを担当。高度な技術開発力を発信するために、大河内記念賞、市村産業賞、ものづくり大賞などの受賞支援を展開し産業界と社会への貢献をアピール。さらにユニークな社内資産と社外との共創による社会課題解決の潜在的な可能性を探る対話の基盤となる「共通言語化」を通じ、新規ビジネスを加速支援する「場」を提案。2014年1月 FUJIFILM Open Innovation Hubを開設。2015年3月から2021年12月まで館長。2022年1月11日 design MeME 合同会社設立。共創によるイノベーションのためのデザイン、場、リーダー人材育成、チェンジマネジメントの支援に取り組んでいる。

小島 健嗣 氏

クリエイティブファシリテーター / イノベーションアーキテクト / デザイナー design MeME 合同会社 代表 / 一般社団法人Future Center Alliance Japanマイスター/前 FUJIFILM Open Innovation Hub 館長

Copyright (C) 2023 JUAS All rights reserved



第3回

JUASTランスフォーメーション(X)研究会主催アカデミーとして開催

未来に没入して個人と組織を変革する 「トランスフォーメーション思考」

ビジョンやパーパスといった未来志向の経営やDX戦略の推進などが注目されていますが、それらに組織の一人ひとりが自分事として取り組むのは、なかなか難しいことです。シナモンAIの執行役員Futuristである堀田創氏に、個々人が組織の変革を自分事としてとらえられるようになるメソッド、「トランスフォーメーション思考」を紹介いただいた。講演後は、研究会メンバーのみで、同社会長の加治慶光氏による「未来妄想ワーク」を行った。



シリアル・アントレプレナー。25歳で慶應義塾大学大学院理工学研究科後期博士課程修了、工学博士。レコメンデーションエンジン、ニューラルネットワーク等の研究に従事。2005年、2006年にはIPA未踏ソフトウェア創造事業に2度採択された。2005年より株式会社シリウステクノロジーズに参画し、位置連動型広告配信システムAdLocalの開発を担当。在学中にネイキッドテクノロジーを創業、その後同社をmixiに売却。日本において3回企業売却を経験。『ダブルハーベスト』、『チームが自然に生まれ変わる』、『トランスフォーメーション思考』など、DXや経営論をテーマにした著書を複数出版。

堀田 創氏 (シナモンAI 執行役員Futurist)

第4回 トランスフォーメーションのポイント

3社の変革を通して経験したトランスフォーメーションを起こす上での姿勢や考え方を伺い、意見交換

テクノロジーも大事だけれど、

- 新しい価値を生むためには、変革を実現するためには、

- **経営者・リーダーが本気になって**

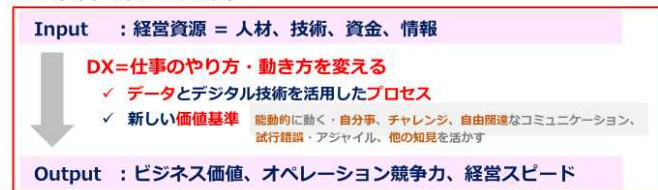
- リアルな危機感をもって 自社、環境・顧客、他社・競合

- **ビジョンを掲げる** 目指す姿・目標を具体化する

まとめ

- 日本企業にはInputの強味はある。
- その強みとデジタルを結び付け、価値・競争力を高める

- DXは経営改革の重要施策



- だから経営トップがリード。**ビジョンを掲げ、目指す姿を具体化**
- そのために、**内部環境と外部環境をリアルに理解**
- だから人材強化・風土改革が大事。**多様なOne Team**で相互に育つ
チャレンジ、試行錯誤(アジャイル)等の動き方
- そして**データを徹底活用**していく

出典:コネポジ



コネポジ 代表 亀山満氏

日産自動車にて1995年からITを活用した全社業務改革プロジェクトを担当。ゴーン改革を肌で感じながら車へのIT適用プロジェクトのリーダーを務めた。中国との合併企業である現地法人のCIO、グローバルマーケティングシステム部長などを歴任。2012年資生堂に入社、最高情報責任者としてグローバルIT戦略を統括。コーポレートIT化、店頭での肌診断やカラー診断を集約した「ビューティータブレット」の展開、また「Global One Shiseido」のキャッチフレーズのもと基幹システム刷新プロジェクトを推進し、2019年に退任。2020年より三菱マテリアルCDOに就任。2022年退任。



第5回

共感でお金が循環する社会をデザインする

JUASTランスフォーメーション(X)研究会主催アカデミーとして開催

現在の経済や資本主義の根底になっているお金。
そのお金をデザインし直せば、前提が変わり、経済、資本主義、そして社会も変わっていく。
自分たちが求めている社会に近づくために、お金をどのようにアップデートするのか。
お金の根本的な性質を理解し、ITの技術を駆使して、その特性をどうチューニングすれば、
辿り着きたい社会に行けるのかを一緒に考えます。



新井和宏氏 非営利株式会社eumo 代表取締役

1968年生まれ。東京理科大学卒。1992年住友信託銀行(現・三井住友信託銀行)入社、2000年パークレイズ・グローバル・インベスターズ(現・ブラックロック・ジャパン)入社。公的年金などを中心に、多岐にわたる運用業務に従事。2007~2008年、大病とリーマン・ショックをきっかけに、それまで信奉してきた金融工学、数式に則った投資、金融市場のあり方に疑問を持つようになる。2008年11月、鎌倉投信株式会社を元同僚と創業。2010年3月より運用を開始した投資信託「結い2101」の運用責任者として活躍した。鎌倉投信退職後の2018年9月、株式会社eumo(ユーモ)を設立。現在、北海道ニセコ町在住 著書『投資は「きれいごと」で成功する』(ダイヤモンド社)、『持続可能な資本主義』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)、『幸せな人は「お金」と「働く」を知っている』(イーストプレス)、『共感資本社会を生きる』(共著・ダイヤモンド社)



第6回 だから僕たちは、組織を変えていける

あなたの組織は「社員と深い関係性」を築けていますか？
 そのために「なにをすればいいのか」を体系的に理解していますか？
 それを「具体的に実行するためのステップ」をお持ちですか？

社員と深い絆を築く「理想の組織」とそのための「最新の組織論」。
 すぐに役立ち、かつ働く方々の心に響く、組織のトランスフォーメーションに迫ります。



齊藤 徹氏

起業家、経営学者、研究者 ビジネス・ブレイクスルー大学教授
 日本IBMを経て、2005年にループス・コミュニケーションズを創業。ソーシャルシフト提唱者として、知識社会における組織改革を企業に提言する。2016年に学習院大学経済学部経営学科の特別客員教授に就任。2020年からはビジネス・ブレイクスルー大学教授として教鞭を執る。2018年には社会人向けオンラインスクール「hintゼミ」を開講。卒業生は1000名を超え、大手企業社員から経営者、個人にいたるまで多様な受講者が在籍。企業向けの講演実績は数百社におよぶ。組織論、起業論に関する著書も多い。株式会社hint代表。株式会社ループス・コミュニケーションズ代表。



参加メンバーとのディスカッション

◆参加メンバーとのディスカッション

- ①特に印象に残っている講演内容
- ②研究会メンバーとの対話で印象に残っていること
- ③研究会に参加して起きた変化(個人・組織)

